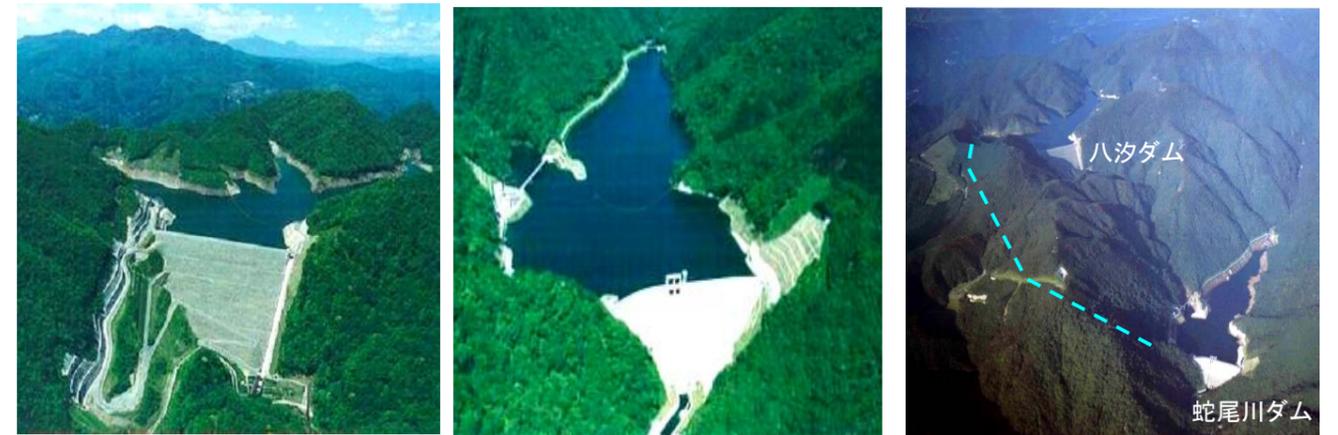


<p>【塩原発電所の概要】 揚水式発電所 所在地 : 栃木県那須塩原市 認可出力 : 900,000kW 有効落差 : 338.0m 最大使用水量 : 324m³/s 運転開始 : 平成6年6月</p>	<p>【八汐ダムの概要】 所在地 : 栃木県那須塩原市 発電所名 : 塩原発電所 種類型式 : アスファルト表面遮水 壁型ロックフィルダム 高さ : 90.500m 堤長 : 263.000m 竣工年月 : 平成4年11月</p> <p>【八汐調整池の概要】 総貯水容量 : 1,190万m³ 有効貯水容量 : 760万m³ 湛水面積 : 0.47km² 常時満水位(標高) : 1,048.000m 最低水位(標高) : 1,028.000m</p>	<p>【蛇尾川ダムの概要】 所在地 : 栃木県那須塩原市 発電所名 : 塩原発電所 種類型式 : コンクリート 重力式ダム 高さ : 104.000m 堤長 : 273.000m 竣工年月 : 平成5年1月</p> <p>【蛇尾川調整池の概要】 総貯水容量 : 1,050万m³ 有効貯水容量 : 760万m³ 湛水面積 : 0.32km² 常時満水位(標高) : 700.000m 最低水位(標高) : 670.000m</p>
---	---	--



八汐ダム全景 蛇尾川ダム全景 塩原発電所

【河川法: 流入量に関する報告】

・水利使用規則に基づき、毎年1回、ダム流入量を国土交通省関東地方整備局まで報告することが定められている。

【改ざんの概要】

○データ改ざんを行った経緯及び関係者については、平成19年1月24日付の前回報告書第1分冊に記載のとおりであるが、放流量と流入量を一致させる改ざんの方法として、放流量を改ざんしているケースに加え、以下のとおり、流入量を改ざんするケースがあった(平成6年度報告分から平成17年度報告分まで)。

- ・上流の測水所の流量を基準に算出した流入量を改ざんして報告流入量とし、それに一致するように放流量も改ざん。
- ・大雨による出水などにより大量に放流を行った場合等には、実際の放流量を報告放流量とし、それに一致するように流入量を改ざん。

【ダムの安全性について】

・本事案は流入量データに関して改ざんを行ったものであるが、ダムの安全性については、前回報告書第2分冊に記載のとおり、八汐調整池及び蛇尾川調整池の貯水位が設計洪水位を超えたことは一度もないこと等から、安全な状態を確保できていると考えられる。

【問題点等】
(平成19年1月24日報告書より抜粋)

- ・データ改ざん等について、本店の担当部門も承知のもと、長年にわたり行われてきたこと。
- ・データ改ざんが行われた根本的な原因として、八汐調整池からの浸透流出が通常より多く、水利使用規則を厳守すると発電所が維持できなかつたこと。なお、今後、主要な浸透流出箇所の特定に全力を傾け、浸透流出量の減少方策を検討していかなければならないと考えている。

